

総代会

会員一人ひとりのご意見を、金庫経営に反映させていただきます。

総代会制度について

信用金庫は、会員同士の「相互信頼」と「互恵」の精神を基本理念に、会員1人ひとりの意見を最大の価値とする協同組織金融機関です。したがって、会員は出資口数に関係なく、1人1票の議決権を持ち、総会を通じて当金庫の経営に参加することとなります。しかし、当金庫では、会員数がたいへん多く、総会の開催は事実上不可能です。そこで、当金庫では、会員の総意を適正に反映し、充実した審議を確保するため、総会に代えて総代会制度を採用しております。

この総代会は、決算、取扱業務の決定、理事・監事の選任等の重要事項を決議する最高意思決定機関です。したがって、総代会は、総会と同様に、会員1人ひとりの意見が当金庫の経営に反映されるよう、選任区域ごとに総代候補者を選考する選考委員会を設け、会員の中から適正な手続きにより選任された総代により運営されます。

また、当金庫では、総代会に限定することなく、日常の事業活動を通じて、総代や会員とのコミュニケーションを大切に、さまざまな経営改善に取り組んでおります。

なお、総代会の運営に関するご意見やご要望につきましては、お近くの営業部店までお寄せください。

総代とその選任方法

(1) 総代の任期・定数

- ・総代の任期は3年です。
 - ・総代の定数は、120人以上150人以下で、会員数に応じて選任区域ごとに定められております。
- なお、2019年6月1日現在の総代数は150人で、会員数は18,211人です。

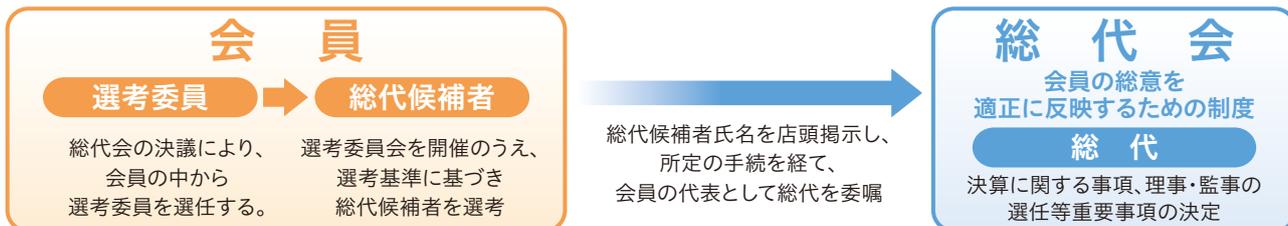
(2) 総代の選任方法

総代は、会員の代表として、会員の総意を当金庫の経営に反映する重要な役割を担っております。そこで総代の選考は、総代候補者選考基準(注)に基づき、次の3つの手続きを経て選任されます。

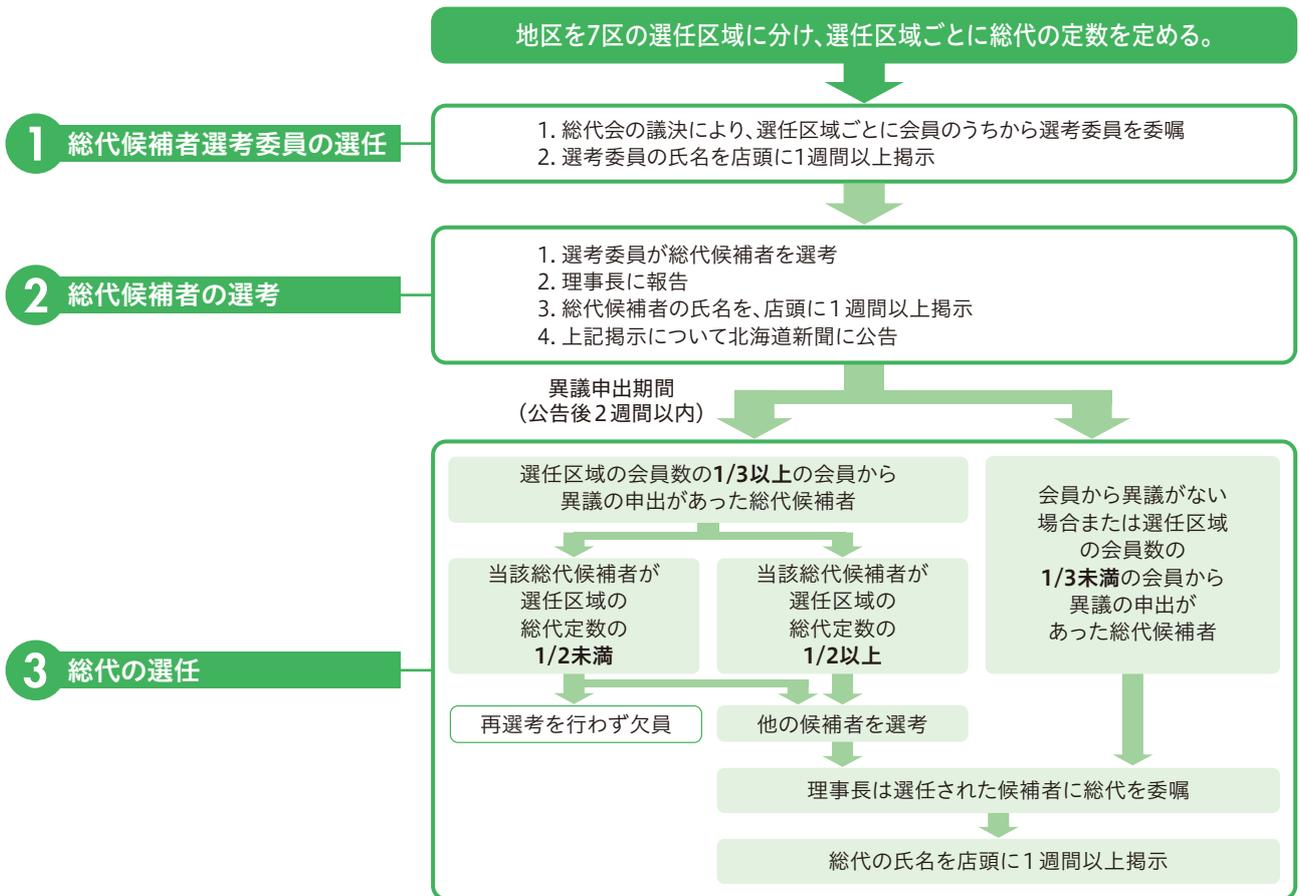
1. 総代会の決議により、会員の中から総代候補者選考委員会を選任する。
2. 選考委員会を開催のうえ、総代候補者選考委員会が総代候補者を選考する。
3. 上記2により選考された総代候補者を会員が信任する。(異議があれば申し出る)

(注) 総代候補者選考基準

1. 当金庫の会員でなければならない
2. 就任時点で満80歳を超えていないこと
3. 地域における信望が厚く、総代としてふさわしい人物であること
4. 信用金庫の使命と理念をよく理解し、金庫との取引も良好であること
5. 地域の事情に明るく、金庫に対する協力者であること
6. 事業者である場合は、経営内容が良好であること



〈総代が選任されるまでの手続について〉



第76回通常総代会の決議事項

第76回通常総代会において、次の事項が付議され、それぞれ原案のとおり了承されました。

第76回通常総代会議案

(1) 報告事項

第75期(2018年4月1日から2019年3月31日まで)業務報告、貸借対照表および損益計算書の内容報告の件

(2) 決議事項

第1号議案 剰余金処分案承認の件

第2号議案 定款一部変更の件(1)「役員の数及び役職の変更」

第3号議案 定款一部変更の件(2)「会員資格要件の拡充」(地区内転入予定者を会員たる資格に追加)

第4号議案 理事10名選任の件

第5号議案 監事3名選任の件

第6号議案 退任理事2名及び退任監事1名に対する退職慰労金贈呈の件

第7号議案 定款第15条に基づく会員除名の件



総代の氏名

●2019年6月1日現在（敬称略・五十音順）※氏名後の丸数字は総代の就任回数

選任区域	人数	氏名
第1区	本店	7名 高岡 広明④ 田島 元④ 田畑 昌伸⑥ 樋口 英俊⑤ 前田 憲男⑤ 万年 雅利⑥ 室谷 元男⑦
	上ノ国支店	7名 草間 貞一⑪ 小林 恭平⑨ 小林 誠④ 谷口 功⑪ 福士 秀彦⑤ 横山 栄一④ 若狭 正仁②
	奥尻支店	5名 明上 雅孝③ 石川 克己⑦ 越森 修平③ 干場 明② 三上 勝廣⑤
第2区	熊石支店	3名 島谷 喜人⑩ 田中 裕⑤ 宮田 千秋⑤
	乙部支店	5名 大坂 裕康④ 工藤 勝仁② 近藤 宗司⑦ 田中富士雄⑥ 中道 照幸⑥
	厚沢部支店	5名 鈴木 祥司⑦ 鈴木 満紀⑪ 能登谷謙一⑧ 前井 敏弘④ 山田 工④
第3区	福島支店	5名 上嶋 利洋④ 西田 篤司① 平野 武夫⑦ 湯浅 章⑩ 吉田 隆悦③
	松前支店	3名 中江 清隆⑤ 早瀬 智幸④ 松尾 佳清⑥
	木古内支店	4名 北島 孝雄⑧ 手塚 通隆④ 西根 悌司① 廣瀬 雅一②
	知内支店	4名 奥山 茂② 齊藤 毅④ 澤岡 孝彌⑨ 繁田 一義③
第4区	函館支店	24名 青木 善一④ 荒木 保① 五十嵐 稔⑦ 大竹 昌尚⑤ 小笠原勇人① 及能 有三① 国立 金助⑥ 小坂 三男⑧ 島本 肇⑥ 菅原 徹⑦ 鈴木 守⑧ 高野 元宏② 竹内 優之① 田中孝太郎⑥ 谷川 栄樹⑥ 長南 武次① 豊田 千春⑤ 早川 勝紀⑫ 原 隆俊⑪ 福西 秀和⑧ 藤原 史章① 米塚 茂樹⑤ 渡邊 和輝④ 渡邊 宏海③
	湯川支店	10名 長内 則明⑦ 菊池 一樹① 佐藤 知寿② 菅井 幸光⑫ 土谷 健治⑨ 堤 良夫② 中濱 一義⑧ 野口 等④ 藤本 田鶴美⑤ 山矢 讓①
	えさん支店	5名 齊藤 明男⑨ 佐々木善昭⑥ 高木 和寿① 中市 敏樹① 中村 陸三③
第5区	函館中央営業部	17名 相川 良夫⑤ 石橋多喜雄⑧ 大越 信幸⑩ 岡村 秀康⑫ 角田 隆芳⑤ 梶原 健司⑥ 金木 茂治⑪ 久保 司① 斎藤 秀司① 須田 新崇⑮ 玉津 眞史⑬ 利波 英樹① 新田 朗彦⑧ 本郷 嘉彦⑫ 三浦 英昌① 宮崎 昌② 吉野谷文一①
	ばんだい支店	9名 池田 信夫① 木村 孝二⑦ 小林 弘⑦ 佐藤 研二⑫ 橋本 範行② 丸山 量⑬ 宮崎あけみ③ 吉田 勤⑬ 渡部 二康⑦
第6区	亀田支店	6名 石川 昭信④ 石田 勝義② 松田由美子① 村上 隆樹④ 森崎 幹子⑯ 吉田 直人⑭
	中道支店	5名 安保裕一郎⑫ 岩館 一則⑦ 小林 政春⑦ 竹田 青司③ 出戸 秀光⑦
第7区	七重浜支店	8名 安藤 栄継⑤ 石崎 幸男⑩ 熊谷 孝之⑥ 佐々木博史⑫ 床鍋 喜雄⑦ 堀 英二③ 本庄 寛治⑦ 矢口 政則②
	北斗支店	8名 小野 精一② 金澤 賢一⑥ 佐藤 悦郎⑦ 澤田 龍② 武田 真③ 時田 茂⑤ 二井田 守⑥ 福島 忠志⑤
	七飯支店	10名 秋田 広樹① 大清水新一⑭ 川尻 淳一⑤ 川又 修治④ 小泉 真⑧ 財津 茂貴⑥ 佐藤 哲司⑥ 林 一哉⑥ 原子 秀康⑨ 横田 有一⑦

合計150名

総代の業種別・年齢別構成

《職業別構成》

法人代表者	137人(91.3%)
個人事業主	9人(6.0%)
個人	4人(2.6%)

《業種別構成》

製造業	19人(13.0%)
漁業	2人(1.3%)
鉱業、採石業、砂利採取業	1人(0.6%)
建設業	44人(30.1%)
運輸業、郵便業	6人(4.1%)
卸売業、小売業	40人(27.3%)
金融業、保険業	1人(0.6%)
不動産業	8人(5.4%)
学術研究、専門・技術サービス業	3人(2.0%)
宿泊業	2人(1.3%)
飲食業	1人(0.6%)
生活関連サービス業	8人(5.4%)
教育、学習支援業	2人(1.3%)
医療、福祉	4人(2.7%)
その他サービス業	5人(3.4%)

※業種別の構成比は、法人代表者・個人事業主に限っております。

《年齢別構成》

30代	1人(0.6%)
40代	13人(8.6%)
50代	25人(16.6%)
60代	67人(44.6%)
70代以上	44人(29.3%)

総代候補者選考委員の氏名

●2019年6月1日現在（敬称略・五十音順）

選任区域	氏名	
第1区	本店	荒木壽美男
	上ノ国支店	八十科 剛
	奥尻支店	成田 久
第2区	熊石支店	田村美津雄
	厚沢部支店	光成 弘治
第3区	福島支店	奈良 正喜
	松前支店	小川 正紀
	木古内支店	北島 孝雄
	知内支店	奥山 彰
第4区	函館支店	長南 武次 原 隆俊
	湯川支店	藤本 田鶴美
	えさん支店	齊藤 明男
第5区	函館中央営業部	角田 隆芳 斎藤 光子
	ばんだい支店	柏葉 孔
第6区	亀田支店	石川 昭信 森崎 幹子
	中道支店	小林 政春
第7区	七重浜支店	三浦 和彦
	北斗支店	金澤 賢一
	七飯支店	堀 元

合計23名

地域貢献

地域の繁栄は、金庫の繁栄。地元経済の振興こそが信金の務めです。

当金庫の地域経済活性化への取り組みについて

当金庫は、松山・渡島管内に位置する2市14町を事業区域として、地元の中小企業や住民が会員となって、お互いに助け合い、お互いに発展していくことを共通の理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。

地元のお客さまからお預かりした大切な資金(預金積金)は、地元で資金を必要とするお客さまに融資を行って、事業の繁栄や生活の安定のお手伝いをするとともに、地域社会の一員として地元の中小企業や住民との強い絆とネットワークを形成し、地域経済の持続的発展に努めております。また、金融機関の業務提供にとどまらず、文化、環境、教育といった面も視野に入れ、広く地域社会の活性化に積極的に取り組んでおります。



お客さまの預金について

当金庫の2019年3月末の預金積金残高(譲渡性預金を含む)は2,767億円です。お客さまからお預かりした大切な預金は、皆さまから信頼をいただいている証であります。

地域のお客さまへのご融資について

当金庫は、預金者に対する責任に応えるべく、出資者である会員の皆さまへのご融資を基本として、地元中小企業の健全な発展と地域社会の繁栄に向けて、多数者利用の原則に基づく融資を心掛けております。

当金庫の2019年3月末の貸出残高は右図の構成となっております。

〈貸出の運営方針〉

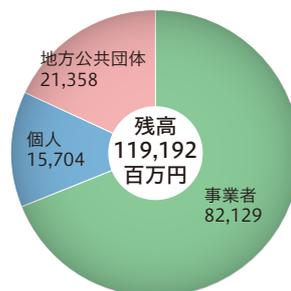
1. 地域に貢献する中小企業に対して積極的に支援いたします。
2. 大口に偏重することなく、多数のお客さまにご利用いただけるように徹底し、信用リスクを分散いたします。
3. 業種の片寄りを可能な限り是正し、バランスのとれた運用を行います。

なお、地元中小企業や地域社会の皆さまの様々な資金ニーズにお応えするため、制度融資資金等をはじめ、各種商品を取り揃えております。

※取扱商品につきましては、24～25ページをご覧ください。

〔貸出金残高構成〕

(単位:百万円)



※金額単位未満および小数点第3位以下は切り捨てて表示しております。
※各計数は2019年3月末現在です。

預金積金における貸出金の割合 / 43.07%

設備資金 / 67,436百万円

運転資金 / 51,755百万円

ご融資以外の運用について

当金庫はお客様の預金を、ご融資による運用の他に有価証券等による運用も行っております。

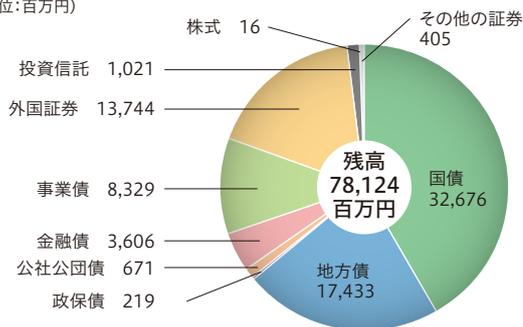
有価証券運用は、格付けの高い公社債等を中心に各種リスクに十分配慮し、安全な運用に努めております。

この他、即日換金可能な信金中金定期預金等への預入により、流動性リスクについても十分配慮しております。

- 有価証券残高/78,124百万円
- 預け金残高/87,542百万円

[有価証券残高構成]

(単位:百万円)



※金額単位未満は切り捨てて表示しております。
※各計数は2019年3月末現在です。

お取引先へのご支援等について (地域との繋がり)

- 中小企業者や個人事業主の皆さまの経営に少しでもお役に立てていただければとの思いから、地域内の経済情報を収録した「地区内経済概況」、「月別概況」や「営業地区内の景気動向調査」、業界経済情報誌である「経営情報」等の各種経営情報をお届けしております。
- 個人のお客様が希望した場合、生活に密着した各種情報が満載されている情報誌「楽しいわが家」をお届けしております。
- お取引企業と「うみしん職域サポート協定」を締結することで、経営者を含む従業員に対し当金庫の取り扱う金融商品について、金利優遇等のサービスを行っております。お取引企業は従業員が定着し、健康で文化的な生活を営み、生活の安定と向上等、福利厚生面でお役に立てるといったメリットがあります。
- 高齢者等への課題対応等地域住民サービスの一環として、当金庫営業店所在地2市11町と「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を締結しております。締結させていただいた市町と連携して、複合的かつ重層的な見守り・安否確認の仕組みを構築し、高齢者の孤独死防止等に寄与するための取り組みをしております。

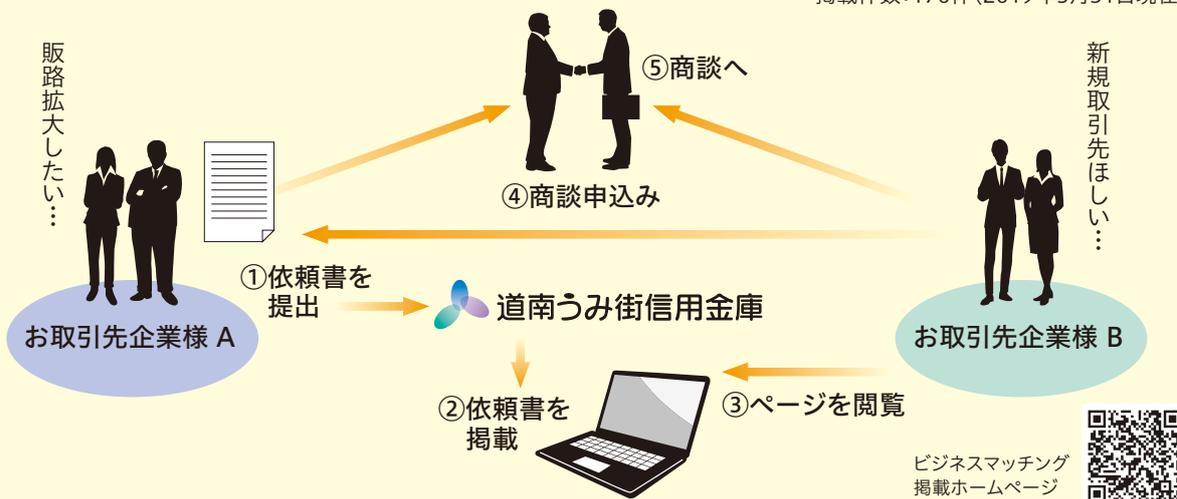


うみしんビジネスマッチング応援

当金庫のホームページ上にビジネスマッチングページを掲載し、お取引企業の事業展開を応援、事業パートナー等と出会う機会を提供させていただくサービスを実施しております。

お取引企業のビジネスマッチングにかかるニーズ情報(販路の拡大等)を掲載することにより、新しいビジネスへと繋げていただくことを目標としております。

掲載件数:170件(2019年3月31日現在)



トピックス

2018年度の主なできごと

2018年 4月 2日	入庫式(新入職員13名)
2018年 6月19日	第75回通常総代会を開催(於:江差町 ホテルニューえさし)
2018年 7月 1日 ~10月31日	セーフティラリー北海道2018へ参加(参加194名)
2018年 8月27日	五稜郭支店を函館支店に統合
2018年 9月 1日	全店一斉総合防災訓練を実施(各町消防署が協力)
2018年 9月25日	知内支店建替新築オープン
2019年 3月29日	店外ATM「ラルズマート久根別店出張所」を廃止



地域とのふれあい



お客さまネットワーク化の取り組み

当金庫には、各営業部店のお取引先事業者さま(会員)相互の親睦・交流を目的として設立された親睦団体「うみしん会」や、当金庫で年金をお受取りのお客さまを対象とした「年金友の会」がございます。

○うみしん会

【14団体:会員数1,085名(2019年3月末現在)】

各団体で経済講演会・旅行・ゴルフ大会・懇親会・レクリエーション等様々な催しを行っており、当金庫も参加・後援し、お客さまの発展と繁栄のお手伝いをしております。



○年金友の会

【16支部:会員数4,143名(2019年3月末現在)】

歌謡ショー・パークゴルフ大会・旅行・新年会等様々な催しを企画しております。

●2018年度は「東京宝塚観劇」と「世界遺産日光東照宮」の旅に77名のご参加をいただきました。





地域活性化への『連携』

当金庫では、地方公共団体や各企業と連携協定を締結し、共同で様々な活動へ参加・協力することで、地域活性化へ取り組んでいます。

○渡島総合振興局、檜山振興局との三者包括連携協定の具体的事業活動

観光をはじめとする産業振興や地域の人材育成に関する取組などで連携することにより、道南地区全体の活性化を図る目的で、2018年3月に締結した包括連携協定の一環として、2018年度は下記の取り組みを行いました。

- 観光客が旅をしながら歴史を学べる北海道命名150年記念観光カード「道南れきぶんカード」の制作、配布の実施
 - ・両振興局との連携による地域のPR活動が評価を受け『第38回信用金庫PRコンクール「PRグッズ部門」』にて優秀賞を受賞しました。
- 知内支店に「木育遊具コーナー」を設置し、「木育フェアinうみまちしんきん」を開催
- 「檜山管内の各産業分野の現状・課題等について」と題して、職員向け研修会を実施
- 秋の全国交通安全運動期間に交通安全啓発活動を実施（七重浜支店）
- 店舗内ロビーにて「青函観光PRパネル展」の開催（6店舗）



○北海道150年みらい事業応援企画登録事業

【北海道みらい事業 第4回道南うみ街信用金庫杯少年軟式野球大会】

スポーツを通じて北海道150年を祝うとともに、次の50年に向けた「北海道づくり」を担う子ども達を応援することを目的として開催しました。

【北海道みらい事業 子育て応援定期積金“みらい”】発売

北海道150年を祝うとともに、次の50年に向けた「北海道づくり」を担う子ども達を育てている家庭（『子育て家庭』）を応援することを目的として発売しました。

○(株)近畿日本ツーリスト北海道、クラブツーリズム(株)北海道旅行センターとの三者連携協定の具体的事業活動

道南地区全体の観光振興を通じて新たな観光コンテンツ等の事業を実施し、交流人口の拡大による地域活性化への貢献を目的に、2018年3月に締結した連携協定の一環として、2018年度は下記の取り組みを行いました。

- モデルコースの提案、オプションツアーの実現(9回)
- 観光資源の紹介、販売パンフレットへの参画を地域観光施設へ提案

○法人会との業務連携

地元中小企業者の健全な育成と発展および安定化の実現のため協力し、地域経済の活性化と中小企業金融の円滑化を目的として、各地域の法人会と業務提携を締結しました。

- 2018年12月 公益社団法人函館法人会
- 2019年 2月 公益社団法人江差地方法人會





若手経営者育成のための学習塾「開陽塾」を開校

地域活性化を目的とする若手経営者育成のための学習塾「開陽塾」を開校しました。
若手経営者の勉強・交流の場として活用いただき、地域活性化に取り組んでおります。

2018年6月24日 【第1回目】

テーマ①「人が元気になる観光～連携と循環の地域振興～」
テーマ②「観光立国に向けた現状・取組とこれからの江差の観光」

2018年8月27日 【第2回目】

テーマ 「ローカル・スタートアップの時代へ－クイズとエピソードで学ぶ地方創生－」

2018年11月13日 【第3回目】

テーマ 「えさしの事業家を元気にする話－イノベーションと人材育成－」

2019年2月12日 【第4回目】

テーマ 「世界経済と檜山の未来」



文化・金融教育活動

各種大会の開催・支援のほか、地域行事等の展示会や作品の展示へロビーを会場として開放しております。

●第42回道南地区小中学生珠算競技大会の開催

北斗市総合文化センター「かなで～る」にて地域の教育(珠算技能の習得)と振興を目的に開催し、地域の小中学生61名のご参加をいただきました。

●インターンシップ(職場体験学習)の受入

店舗所在地近隣の中高校生を対象とした業務体験研修を開催しました。

(中学校)・浜分中学校・江差中学校

・松前中学校・乙部中学校

(高校)・福島商業高校・江差高校・知内高校



- 店舗ロビーを活用した作品展の開催
- 税に関する絵はがきコンクール作品展
- 第8回江差・北前のひな語り
- 江差小中学生俳句展
- 幼稚園卒園児のごめちゃん似顔絵展
- 各保育園、幼稚園絵画展
- 各小学校絵画、書道作品展
- 江差追分「江差地区発表大会」
- 第56回江差追分全国大会
- 檜山管内児童・生徒美術展
- 市民創作「函館野外劇」参加
- 第13回北斗市珠算競技大会



スポーツ振興活動

○スポーツイベントへの取り組み

少年野球大会やパークゴルフ等各種スポーツ大会の開催、マラソン大会への協賛や参加を通じて、皆さまと交流を深めております。

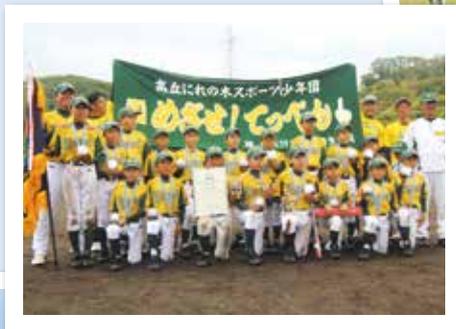
●道南うみ街信用金庫杯 「第14回ジュニアフットサル大会」の開催

渡島檜山管内の少年サッカー24チーム295名のご参加をいただきました。



●第4回道南うみ街信用金庫杯 少年軟式野球大会の開催

渡島檜山管内の少年野球50チーム806名のご参加をいただきました。



- 第28回道南うみ街信用金庫杯争奪「中学校野球大会」の開催
- 第38回うみしん中道杯争奪「親善少年野球大会」の開催
- 第22回道南うみ街信金福島杯パークゴルフ大会の開催
- 第5回奥尻ムーンライトマラソンへの特別協賛および参加
- 2018函館マラソンへの協賛および参加
- 第41回少年剣道江差大会への協賛
- 第27回北海道女だけの相撲大会への協賛およびお手伝い



○「うみ街信金ボールパーク」ネーミングライツ パートナー契約

江差町と「江差町民野球場」に係るネーミングライツパートナー契約を締結しました。

2018年4月からの5年間「うみ街信金ボールパーク」として、地域の皆さまに親しまれ活用していただくとともに、スポーツ振興に貢献してまいります。





地域行事・祭事への協賛・参加

地域の皆さまとのふれあいを大切に、各地区で行われたお祭りやイベントに積極的に参加・協賛しております。

- 函館港まつり「ワッショイはこだて」



- 湯川商店街「第26回千勝まつり」
- 湯川商店街振興組合「納涼ビアガーデン」
- 第53回湯の川温泉花火大会
- 湯倉神社例大祭
- 大沼湖水まつり
- 三嶋神社例大祭
- 大沼神社例大祭
- 第53回大沼函館雪と氷の祭典



- 佐女川神社例大祭
- きこない威臨丸まつり
- 寒中みそぎフェスティバル2019
- 第34回サマーカーニバルin知内
- 第21回知内町カキVSニラまつり
- 第26回春の江差いにしえ夢街道
- 江差かもめ島まつり
- 八大龍王神八江聖団 神輿渡御祭
- 姥神大神宮渡御祭
- 江差ふるさと盆踊り
- 第19回冬江差“美味百彩”なべまつり
- 夷王山祭り・上ノ国鞍馬大会
- エゾ地の火まつり
- 上ノ国八幡宮例大祭
- 熊石あわびの里フェスティバル
- 熊石商工会夏まつり
- 元和台マリンフェスティバル
- 乙部町産業まつり
- 第49回箱館五稜郭祭
- 大瀧不動春季大祭
- 福島町商工会「にぎわい夏祭り」

- 横綱の里商店街組合「おとなり会」
- 第32回「やるべ福島イカまつり」
- 第29回海峡花火大会
- 月崎神社例大祭
- 福島大神宮例大祭
- 奥尻賽の河原まつり
- 奥尻室津まつり
- 奥尻なべつる祭り
- 松陰町納涼まつり
- 松前城下マグロまつり
- 第35回松前城下時代まつり
- 第22回北斗陣屋桜まつり
- 第13回北斗市夏まつり



- 七重浜商店会納涼夏まつり
- あっさぶふるさと夏まつり



- 平成30年度根崎神社例大祭
- 商工会夏まつり花火大会(熊石地区)
- 熊石産業まつり
- 乙部八幡神社例大祭
- はこだてクリスマスファンタジー
- はこだて冬フェスティバル
- 函館護国神社例大祭
- 2018北斗市商工会観光まつりin八郎沼
- 七重浜稲荷神社秋季大祭
- 第37回北斗市茂辺地さけまつり



地方自治体の「まち・ひと・しごと」創生総合戦略に関する 施策会議等への積極的な参画

当金庫は、店舗所在地の各自治体における「まち・ひと・しごと」創生総合戦略に関連した施策会議等に地域金融機関としての知見を活かし委員として積極的に参画し、地域活性化に取り組んでおります。

なお、地域密着型金融の強化、高齢者への課題対応等地域住民サービス強化の一環として「高齢者等の地域見守り活動に関する協定」を2市11町と締結しております。



環境問題への取り組み

環境問題への取り組みは社会的責務であり、当金庫としても「やれること・やらなければならないこと」に積極的に取り組んでおります。

電力使用量の削減を主要課題として、“クールビズ”や“ウォームビズ”を実施し、夏・冬の“節電取り組み”への協力をしているほか、「太陽光発電システム」の設置や、新築店舗や照明機器の取替えは「LED照明」を採用しております。

また、各地区で行われた町内・海水浴場等の一斉清掃や植樹・除草作業などの取り組みに参加しております。

- 江差町クリーンアップ作戦参加
- 奥尻町クリーンアップ作戦参加
- 「北斗市市民植樹祭」参加
- 「檜山古事の森」育樹祭参加
- 知内町「花いっぱい運動」参加
- 大森浜海岸清掃ボランティア活動
- サラキ岬チューリップ球根植え事業参加
- 各町内会の清掃活動参加



道南杉ベンチの寄贈

当金庫創立90周年(2014年)を契機に、地域への感謝の意を表し、地場産材である「道南杉」を使用した「ベンチ」を寄贈しております。(寄贈総数74脚)

《2018年度寄贈先・設置場所》

- ・江差町 「旧檜山爾志郡役所(屋外広場)」
- ・上ノ国町 「上ノ国町スポーツセンター」
- ・八雲町 「ふれあい交流センターくまいし館」
- ・乙部町 「函館バス乙部停留所」
- ・厚沢部町 「道の駅 あっさぶ」
- ・福島町 「チロップ館」
- ・奥尻町 「奥尻パークゴルフ場」
- ・松前町 「松前城」
- ・函館市 「千代台公園野球場」「はこだてキッズプラザ」
「函館コミュニティプラザ」「なとわ・えさん交流センター」
- ・北海道 「北海道立道南四季の杜公園」
- ・北斗市 「北斗市観光交流センター」
- ・(一社)七飯大沼国際観光コンベンション協会「大沼国際交流プラザ」
- ・木古内町 「木古内町役場1階ロビー」
- ・知内町 「知内町中央公民館」





福祉活動

- ・「特別養護老人ホームくまいし荘秋祭り」で模擬店のお手伝い
- ・移動献血車による「愛の献血運動」への協力



卒園記念カレンダーのプレゼント

当金庫のキャラクター「ごめちゃん」が各地区の保育園・幼稚園を訪問し、卒園記念にカレンダーを作成、プレゼントしました。

《2018年度訪問先》

- ・えさし幼稚園
- ・あすなろ幼稚園



その他

各地区で行われた「交通安全運動」等へ参加し、交通安全の啓蒙活動を行いました。

金融犯罪防止活動の一環として、各地域の警察署と協力して“振込詐欺防止”を来店のお客さまに呼びかけました。



カラー電車「うみしん号」 運行中!

当金庫では、PR効果だけでなく、地域貢献を目的に観光都市「はこだて」の歴史と自然が調和する美しい街並みを守る観点から、良好な景観の形成に配慮することが求められている市電車体広告「うみしん号」を運行しております。

